



あおぞら

株式会社 ひこうせん

2018年11月1日 第139号
〒263-0012
千葉市稲毛区藪台町 632-40
TEL 043-290-8778
FAX 043-290-8779
発行者 木村伊佐

佐倉コスモスフェスタ

吹く風も心地良い好季節を迎えました。
今日10月15日(木)は佐倉ふるさと広場へコスモスを見に行ってきました。



ふるさと広場では、オランダ風車を背景に春にはカラフルなチューリップが咲き誇り、秋には風にそよそよと吹かれながら咲くコスモスが広場一面をピンク色に染め上げて、いつ来ても心が癒されるスポットです。

今年には本州を縦断した台風24号の影響で見頃を迎えた各地のコスモスがなぎ倒され、大ピンチとなつていそうです。ここ佐倉のコスモス畑も強風の影響で去年より元気がありません。

皆さんはそんな事は気に止めず、秋空の下で愛らしい花を咲かせるコスモスをとて喜んでくれました。記念写真を撮る時には、思い思いのポーズを取ってカメラの前で微笑んでくれました。

そんな皆さんの横顔を眺めながら今年もこの場所にお連れできた事、お元気に「秋を迎える事が出来てホッとしています」

認知症メモリーウォーク・千葉2018

さわやかな秋晴れとなった10月6日(土)青葉の森公園で開催された認知症メモリーウォークに参加しました。
「認知症でも安心な千葉に！」をテーマに認知症の理解と、この病気に対する社会への啓発運動を目的に青葉の森公園をみん

なで歩きます。

色とりどりの風船をもらいウキウキ気分の方々の前に千葉県のマスコット、チーバくんが現れてアイドルに会えた喜びで盛り上がりました。スタートを知らせる号砲が鳴り一斉に歩き始めた私たち、765メートル、8ヶ所のポイントでクイズに答えボランティアの皆さんと触れ合いました。



閉会式では参加者代表として炭田洋子さんが立派なスピーチをして大勢の人たちから拍手喝采を浴びました。

高齢化が進む日本では認知症は誰もがなる可能性のある身近な病気になりました。「認知症になっても安心して暮らせる町づくり」を目指して今後も活動していきたいと思っています。

木下大サーカス

10月9日(火)セブンパークアリオ前で開催されている木下大サーカスを観に行きました。

2008年に初めて木下大サーカスを観に行ってから10年ぶりの鑑賞です。入居者の皆さんは新しい顔ぶれになりましたが唯一、宮田マスイさんが今回も参加できたこととても感慨深いものがあります。サーカスの始まりには客席にピエロが登場して握手をしてくれました。皆さんの興味を一心に集めたオーブニングでしたが、高い所で繰り広げられる空中ブランコやマジックのシマウマの曲芸、可愛い象さんや



8頭のホワイトライオンの猛獣ショーを集中して鑑賞できた方はわずか数名でした。他の皆さんは30分置きに数人がトイレへ行き、休憩時間には、会場を自由に闊歩する人を慌てて追いかけるひやりハット、暗がりでおぼあさんの小競り合いの仲裁に入るなど、地域に出かけ一般の方々と同じ空間で過ごす入居者さん個々の「現況」や個性を客観的に見る良い機会となりました。

まとめ：ひこうせんは10年前に比べると格段に元気で個性豊かな集団にバージョンアップしていることがわかりました。

豚汁会

秋行事も佳境に入ってきました。今日10月23日(火)は豚汁会、天候に左右される外レクは難しく、今回は天気予報が大当たりした絶好の行楽日和になりました。

食欲の秋、採れ立て野菜で作った豚汁の大鍋を持ってスポーツ公園に出发です。公園の中は台風24号の影響で、色づく前に葉が落ちてしまった木が佇んでいます。強風の中、枝にしがみついて頑張つて残った葉がようやく色づき始めた頃でしょうか。皆さんは目の前の豚汁に心を奪われ景色には興味はないようです(笑)

食後の旗上げゲームでは「今日春のお花見会と思う人は赤い旗」「秋の豚汁会と思う人は緑の旗」と色を選び上げてもらうと数人の方が「赤」を上げ「今日はお花見に決まっていますっ！」と自信満々でした。

ゲームの終わりに「もみじ」を合唱して、「ぼんざーい」と両手を高く上げる獅子さんの大きな声が響き渡りました。それに続いて皆さんも一斉に「ぼんざーい」と拍手をしてくれました。



ギターコンサート2018

秋の深まりを感じる季節になりました。今日10月26日(金)は恒例となったギターコンサートが開かれました。今年で13回目を迎えたコンサート、ギターを演奏してくれるのは「アニモ」のグループの皆さんです。

今日のプログラムは15曲、皆さんが子供の時に歌った唱歌や若いころに流行した懐かしのメロディをギターに合わせて口ずさみました。皆さんが「輝いていた時代」を音楽を通して回想できたと思います。終盤に差し掛かる頃には会場の空気が和んでいくのがわかりました。



毎年秋になるとこのコンサートを聞き、グループの皆さんにお会いできる事、互いの健康を気遣い、また来年の約束を交わすお付き合いが貴重なものに思えてきたのは、私も年を取ってきたのだと感じるようになりました。

平成30年度第3回運営推進会議

10月18日(木)3回目の運営推進会議が開催されました。会議には、ご家族6名、秩台自治会民生委員・柳生様、あんしんケアセンター天台・平野様、田中様、リハビリ事業者まごころベルサービスから営業所長・山口様、本部研修部長・千葉様、副所長・河崎様、施術師・矢山様、ホーム代表4名の計17名の皆さんが参加して下さいました。

定例の報告と身体的拘束適正化検討委員会の開催、まごころベルサービスから「高齢者のリハビリの必要性とその効果について」のお話を「軽擦法」の実技やリハビリ改善事例を紹介してもらいながら皆さんと学びました。最後は入居者・ご家族皆さんで「元氣・長生き・健康体操」を行い会議が終了となりました。お忙しい中お集まり頂きましてありがとうございます。